

農産物加工による地域活性化

事業名：経営構造対策事業（平成12年度認定）
 地区名：岐阜県清見村小鳥地区
 事業主体：清見村
 管理主体：財団法人ふるさと清見21（H16.11.1に株式会社化）
 施設名：総合交流拠点施設 1棟455.73㎡（H12）
 事業費：213,000千円（国費：106,500千円）

1. 組織の概要

- (1) 組織名：株式会社ふるさと清見21
 (2) 構成員：(従業員：130名)
 (3) 設立年月日：平成16年11月1日（前身の財団法人はH3.5.11設立）
 (4) 業務内容等： 地域特産品の開発・加工・販売
 地域原材料を利用した食材供給
 体験を主とした都市と農村交流事業
 (5) 連絡先：岐阜県大野郡清見村夏厩879-1
 0577-67-4151

2. 取組概要

(1) 施設導入経緯

小鳥地区の人口の減少から基幹産業である農業生産が弱体化しており、農業経営体の育成・確保が課題となった。このため、新たな作物を視野に入れた農産物の供給拡大が不可欠であり、その拠点となる加工・販売・食材供給の機能を有する施設が必要となった。農家はこの施設に農産物を供給する事により所得の向上が図られ、地域住民も雇用の場となり地域の活性化に繋がる。

(2) 取組概要

小鳥地域の農産物の供給拡大を図るため、平成12年度に当事業で小鳥総合交流拠点施設を建設し、既に村内で特産品加工・都市農村交流事業に取り組んでいた(株)ふるさと清見21が、管理運営を行っている。

現在、当施設では農家よりそば（2法人）・野菜（20戸）を中心に受入れ、生そば・そばかりんとう・そば豆腐・野菜パンなどの加工・販売及びこれらをメニューに入れた食材供給も行っている。特に生そばについては、ふるさと清見21が運営している他の3つの施設でも利用し、味・品質の統一化を図っている。

今後は、消費者ニーズに対応した新商品の開発と都市部を中心とした販路拡大により「ひだ清見」ブランドの定着化を推進し、地域の活性化を図る。

3. 目標設定

(1) 全国共通目標

認定農業者の育成					担い手への農地の利用集積 上段：集積率(%)、下段：面積(ha)			遊休農地の 解消	
計画時 (人)	目標 (人)	増加率 (%)	市町村目標割 合(%)	地区目標割合 (%)	計画時	目標	増加ポ イント	計画時 (ha)	目標 (ha)
5	8	160.0	11.0	9.0	(19.2%)	(42.5%)	23.3	0.0	0.0
					14.0	31.0			

(2) 地区選択目標

経営体における農業所得		雇用機会の確保(常時雇用)	
計画時(万円)	目標(万円)	計画時(人)	目標(人)
0	47	0	3

整備施設

施設全景



作業風景

